

半田あかりさんが、 鹿屋で走り続けた2年間

～地域おこし協力隊を卒業。そして、
「かのやばら大使」として新たなステージへ～

平成28年4月、大阪で松竹芸能所属の芸人として活躍していた半田あかりさんは、地域おこし協力隊員として、縁もゆかりもない鹿屋にやって来ました。その後、「かのやオフィシャルリポーター」として、様々なイベントやメディアで鹿屋の魅力をPRしてきた半田さんですが、この3月、2年間の任期を終え大阪へ帰ることに。半田さんの2年間の挑戦について、お話を聞きました。



プロフィール

昭和59年大阪市生まれ。松竹芸能(株)所属。関西のテレビなどに多数出演していた平成28年、地域おこし協力隊員として鹿屋市に移住することに。市民を巻き込みながら、鹿屋の魅力を市内外に大いにPRした。



「かのやばら大使」に任命！
3月に開いていたいただいた送別会の場で、突然、中西市長から「かのやばら大使」に任命されました。このサプライズ任命式の計画は、私以外の出席者やマスコミの方は知っていません。とても嬉しく光栄に思っています。これからもPRがんばります！



鹿屋に来てビックリしたこと

鹿屋に来た当初は、驚きの連続でした。まず鉄道が通っていないことにビックリ。そして夜になるとちゃんと真っ暗になるのもビックリ。連れて来たペットたちも最初の夜はビクビクしていたのを覚えています(笑) また、大阪に住んでいた時、公園は危険な場所だと思っていましたが、鹿屋では子どもたちが伸び伸びと遊んでいる光景を見て、違う意味で驚かされました。

鹿屋の魅力について

鹿屋にはお金では買えない「本物」の魅力がたくさんあって、その本物の中で生活できることは、素晴らしいことだと思います。

在任中、市内の農家さんや漁師さんなど、第一次産業の生産現場に携わる色々な方に出会い、その魅力を教えてもらいました。そうして現地で直に感じた魅力を、外から来た観光客目線を中心にしながら、情報発信させてもらいました。その結果、全国放送のテレビや新聞に何度も取り上げてもらったり、自分の力以上のPRができたと思います。

鹿屋の人に出会えた奇跡

鹿屋には、地元を盛り上げたい気

持ちを持った方がたくさんいて、その方たちと出会えて、私は本当に運がよかったと思っています。

地域イベントから15,000人ライブの司会まで、様々な仕事を経験させてもらいましたが、これも近くにいる方々からサポートをもらえたおかげ。感謝しています。

新たな「相方」とともに

鹿屋に来て「かのやカンパチロウ」という素晴らしい相方に出会い、「カンパチの解体ショー」という特技も身に付けました。これは芸人としても一生の財産になります！

これらを生かして、大阪から「かのやばら大使」として、鹿屋の魅力を発信していきます。そしてまた鹿屋に帰ってきますので、皆さんまたお会いしましょう！



©松竹芸能株式会社